

「ていねっていいね」といえるまちの実現へ

平成16年度手稲区主要事業紹介

手稲区では、自然や歴史、区民の主體的なまちづくり活動や地域の個性を最大限に生かした、にぎわいのある「ふるさと手稲」のまちづくりを進めていきたいと考えています。今月は、そうした取り組みのうち、主なものを紹介します。

コミュニティケーションを育てるまちづくり

●区民が主体となった「まちづくり活動」を支援します

区内で活動しているまちづくり団体の情報を区民に提供することなどを目的としてまとめた、「まちづくり情報誌「ていねっと」」を発行する予定です。このほか、地域住民で子育て中の親子を支える活動をしている団体や、子どもからお年寄りまで各世代が集い地域福祉の向上を目指しさまざまな交流事業を行っている団体など、地域の抱える課題の克服に取り組む団体の活動に助成を行います。

●高齢者や地域の防犯意識を高める事業を実施します

高齢者が安心して暮らせる街づくりを目指して、警察や関係機関の協力のもと、おれおれ詐欺や悪徳商法などの対処法についての講演会を行い、お年寄りと見守りをする家族、地域の住民も含めた防犯意識の啓発事業を行います。

●小学生に夢のある「まちづくり」を考えてもらいます

小学4年生に「10年後のわ

たしたちのまち、こうだといいなあー」というまちづくりへの夢を描いてもらい、展示会などで子どもたちや地域の方々と一緒に「まちづくり」について考えます。また、20歳になった新成人に10年前（小学4年生時）に描いた絵を返却し、あらためてまちづくりについて考えてもらいます。



ネットワークで結ぶまちづくり

●まちづくり活動団体のネットワークづくりを支援します

「PMF手稲区公演」(7月23日(金)予定)や「ていね夏あ

かり」(7月25日(日)予定)など、地域住民が主体になって企画・実施されている区民の交流イベントや各地域の特性を生かしたまちづくり活動を支援します。また、地域住民のふれあい交流会や芸術・文化活動など、地域とまちづくりセンターが連携して企画・立案する事業を積極的に支援することにより、区民のまちづくりへの関心・参加意欲を高めるとともに、区内で活動する多種多様なまちづくり団体のネットワークづくりを進めていきます。

●文化活動の練習場所として学校を開放します

区民の積極的な文化活動への取組みを支援するため、音楽、演劇などのアマチュア団体の練習場所として区内の小学校1校を開放します。対象となる小学校は手稲鉄北小学校を予定しており、平成16年夏頃に開放できるように準備を進めています。

●ていねの森コンサートを通じて音楽の文化を広めます

平成5年度から始まったこのイベントは、音楽を通じて区民とのパートナーシップによるまちづくりを進めることを目的として行われており、

市民合唱団と札幌交響楽団によるジョイントコンサートは、手稲の夏の風物詩として区民に定着しています。今年度は、8月8日(日)に前田森林公園サングァーデン特設ステージで実施する予定です。



●環境の保全や美化に取り組みます

公園や河川の清掃など、環境保全や環境美化に地域が主体となって取り組む団体の活動について、資金の一部助成や講師の派遣などの支援を行います。また、親子を対象に手稲区の環境について考えてもらうため、親子体験見学会を予定しています。